

令和4年定例会12月会議一般質問

No. 1		
13番	影山常光議員	備考
質問事項	質問要旨	
1 広域連携の成果と、我が町の取り組み方針について	<p>2015年(平成27年度)、総務省の「新たな広域連携促進事業」の実施を契機に、中核市である郡山市を含む近隣17市町村が、地方自治法に基づく「連携協約」を締結することにより「こおりやま連携中枢都市圏」が形成されました。</p> <p>住民が引き続き現在の居住地で生活でき、利便性を維持向上させ、将来にわたり豊かな地域としての持続を目指したものです。</p> <p>福島県の中央に位置し、働きやすく暮らしやすい環境と高度な産業や研究機関が集積された「経済県都」として発展してきた、連携中枢都市が近隣の市町村と連携して、人口減少・少子高齢化社会においても、一定の人口を保ち活力ある社会経済を維持・けん引する圏域を形成するものです。</p> <p>今後、人口減少が進むと、単独市町村では、これまでどおりの行政サービスを維持することが難しくなります。次のとおり、</p> <p>①経済成長のけん引(産業、広域観光等)</p> <p>②高次都市機能の集積・強化(医療体制、公共交通網等)</p> <p>③生活関連機能サービスの向上(福祉、教育、災害対策、人材育成等)</p> <p>これらについて、近隣市町村が協力して行政サービスの維持・向上を図ることとされております。</p> <p>次の3点について、質問します。</p> <p>1) 2019年(令和元年度)から2023年(令和5年度)までの5年間の中で、中長期目標期にあたり、産学官連携、市町村間連携を本格化させ、住民が圏域形成メリットを実感できる、各市町村の主体的なまちづくりによる将来展望実現に相互に資する時期となっております。郡山広域圏形成の効果についての現状を伺います。</p> <p>2) 今後の長期目標期にあたり、高次都市機能の集積・強化(公共交通網等)について伺います。わが町は、東北・磐越自動車道、東北新幹線や鉄道網の結節点から最短のアクセス圏に位置しながら、主要県道などの交通網の整備に広域連携効果が発揮されているのか。デジタル社会にあっても、通勤通学をはじめ、災害対</p>	

	<p>応や避難路確保等、人の移動の利便性が基本であります。郡山市への通勤通学の割合は、三春町の就労通勤者10,021人中3,750人、43%と1番多く、本宮市30%、田村市17%等となっております。</p> <p>①国道288号、小泉～下舞木の歩道設置、半年間も片側通行。</p> <p>②県道斎藤下行合線の道路改良</p> <p>③町バスの郡山市への乗り入れ、接続等</p> <p>円滑な公共交通ネットワーク・社会インフラ整備を提言していくことが必要です。今後、どのように広域連携を活用、発展させていくのか。</p> <p>3) 広域連携促進事業の目指すものは、時代背景の中で、従来から続くものもあり、三春町にとって大きなものは、田村広域行政組合です。また、滝桜観光やモンベル誘致など、三春町から発信すべき政策課題も考えられます。今後は、多くの接点を持ちながら長期展望にたって、情報・政策の共有を図るべきと思うが町長の考えを伺います。</p>	
<p>2 町防災行政無線と、全国瞬時警報システム（Jアラート）について</p>	<p>我が国は、これまで地震・台風・豪雨・津波など多くの災害に見舞われてきました。平成23年の東日本大震災をはじめ、平成26年の御嶽山の噴火、平成30年の西日本豪雨など多くの自然災害が発生しています。</p> <p>国及び地方公共団体等は、災害時における情報通信の重要性にかんがみ、災害時の通信手段の確保のため、防災行政無線の構築を推奨しました。</p> <p>防災行政無線は、県及び市町村が「地域防災計画」に基づき、それぞれの地域における防災、応急救助、災害復旧に関する業務に使用することを主な目的として、併せて、平常時には一般行政事務に使用できる無線局です。県内においても、59市町村中48市町村、81%が整備され、我が町の運用状況についても、近隣市町より賞賛を受けております。</p> <p>一方、東南海・南海地震、東海大地震、首都直下型地震の発生も懸念されます。更に、緊迫傾向にある国際情勢下にあつて、有事の際に住民が適切な避難を速やかに行うため、住民に正確な情報を迅速に伝達することが重要であることから、Jアラートの整備を推進しております。Jアラートは、弾道ミサイル攻撃に関する情報や緊急地震速報、津波警報、気象警報などの緊急情報を、瞬時に住民等に伝達するシステムであります。</p> <p>次の2点について、伺います。</p> <p>1) 屋外拡声器の配置状況について、いつも屋内にいるわけではない、自宅周辺でも聞こえないという声があ</p>	

	<p>ります。今後、地形などを考慮し調査検討する考えはあるか伺います。</p> <p>2) 「Jアラートのテスト放送」を聞いたとき、町民はどう考え、どう行動すればよいのかを考えるとと思います。Jアラートの仕組みや、避難行動について、どのように町民に理解してもらうべきか。国からは、どのような説明がなされているのか。町民には、どのように周知されているのか伺います。</p>	
--	---	--

令和4年定例会12月会議一般質問

No. 2		
10番	篠崎 聡 議員	備考
質問事項	質問 要 旨	
1 ごみ収集カレンダーは	<p>町は、新年度が始まる前にごみ収集カレンダーを行政区を通して配布しています。しかし、ごみ出しがルール通りに出来ていない状況です。町指定の袋を使わないで、ごみを出したり指定日と違う日に出したりということが散見されます。そういうことは、自治会の問題だと言ってしまえば簡単かもしれませんが、ごみ問題は一概にはいえないと思います。</p> <p>1) カレンダーのプラスチック・資源・有害・もえないが非常に分かりにくいのはなぜですか。</p> <p>2) 人によっては、プラスチックと資源ごみの日に有害ごみを出したり、プラスチックと資源・有害の日にもえないごみを出したりしています。これは、カレンダーに問題があるのではないのでしょうか。カレンダーの回収品目が月により変わるので、紛らわしく勘違いする人がいます。そのため、当番でごみ置き場清掃している方が、回収されなかったよその家のごみを1週間保管したり、袋を詰め替えたりして出しています。月後半の特定ごみ回収については4点セットに出来ないか伺います。</p>	
2 町の財務書類は	<p>町の財務書類について伺います。</p> <p>国の財務書類は、未だに現金主義の単式簿記で原則公表されていますが、地方自治体の場合、平成28年の決算から、総務省の「統一的な基準による地方公会計促進について」により、固定資産台帳の必要性や団体間の比較を可能にする観点から、「統一的な基準」による財務書類等を作成するよう要請されています。当町も、基準に合った財務書類を作成して公開しているのは存じています。発生主義による複式簿記で、日々の財務書類（総勘定元帳、仕訳帳）など適切に記載されているのでしょうか。</p>	

<p>3 令和5年度 予算編成は</p>	<p>町の予算編成について伺いたいと思います。 毎年、町長名の予算編成の方針という文書が発信されていますが、令和3年度決算では、予備費充用が14件、費目流用が42件ありました。予備費は、予算に無い予期せぬ支出が発生したということだと思います。しかし、費目流用が42件も発生しているのは多くないですか。制度上、費目流用は認められていますが、あまり多いと予算計上時の試算が甘いのかと思われます。令和4年度も適正な予算執行していると思いますが、決算が少し楽しみです。令和5年度は、町長名の予算編成の方針にのっとり、適正な予算計上で進めていますか。</p>	
--------------------------	---	--

令和4年定例会 12月会議一般質問

No. 3		
9 番	松 村 妙 子 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1 部活動の地域移行について	国が来年度から、公立中学校の休日の部活動の指導を、段階的に教員から地域のスポーツクラブなどに移行する事についてお尋ねします。	
2 男性用のトイレにサンタリーボックスを設置してはどうか	皆さんは、サンタリーボックスと呼ばれるゴミ箱をご存知でしょうか。女性の方であれば知っている方も多いかと思いますが、男性の方はあまり聞きなれない方もいるかと思いますが。男性への認知度が低いサンタリーボックスですが、現在男性用トイレでの設置が各地で広がっています。町の公共施設における設置状況はどうかお尋ねします。	

令和4年定例会12月会議一般質問

No.4		
15番	影山初吉議員	備考
質問事項	質問要旨	
1 財政健全化 について	資材・電気・燃料等が高騰している中で大型事業が相次ぐが、将来に負の遺産を残さず町民サービスを低下させず、今後数年どのような予算編成に取り組むのか伺います。	